

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が93例(男性52例(10歳代6例, 20歳代10例, 30歳代9例, 40歳代3例, 50歳代9例, 60歳代5例, 70歳代5例, 80歳代2例, 90歳代3例), 女性37例(10歳代1例, 20歳代11例, 30歳代2例, 40歳代4例, 50歳代6例, 60歳代3例, 70歳代2例, 80歳代4例, 90歳代3例, 年齢非公開1例), 未就学児4例(年齢性別非公開))あり, 累積報告数は1,615例となりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(10歳代男性)あり, 症状は腹痛, 水様性下痢, 血便です。本年の累積報告数は19例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- インフルエンザは, 先週に引き続き, 市内69の定点医療機関からの報告はありません。全国では23例(定点当たり0.0047)の報告がありました。現状では全国及び京都市で流行の兆しは見られませんが, 流行に備えて予防を心がけましょう。予防策としては, 手洗い, うがいなどの一般的な衛生行動が重要です。また, ワクチン接種も一定の予防効果があります。接種の詳細はかかりつけの医療機関に御相談ください。
京都市のインフルエンザの発生状況は下記のホームページをご参照ください
○京都市のインフルエンザの発生状況(衛生環境研究所)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
- 小児科定点把握感染症の推移は, 前週までと大きな変化はなく, 流行の兆候の見られる感染症はありません。

◆ 今週のトピックス: <感染性胃腸炎(ロタウイルス)>

京都市の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は, 1.44(62例)となり, 前週より微増したものの過去5年間の平均を大きく下回る状況が続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別, 年齢, 症状, 感染地域[※], 感染経路[※]の順に掲載。ただし, 結核は除く。)

- 二類: 結核 4例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 225例(肺結核 102例, その他結核 48例, 潜在性結核感染者 75例)うち喀痰塗抹陽性 48例】
- 指定感染症: 新型コロナウイルス感染症 93例【1月以降の累積報告数 1,615例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 19例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

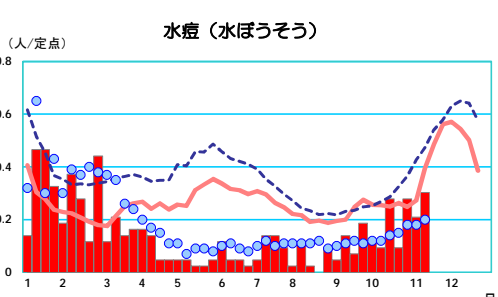
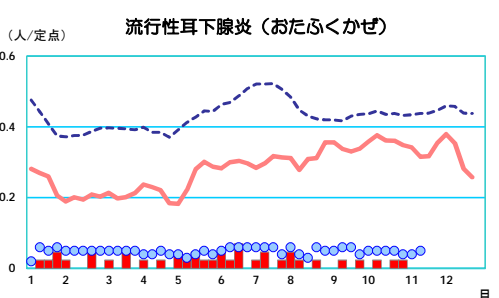
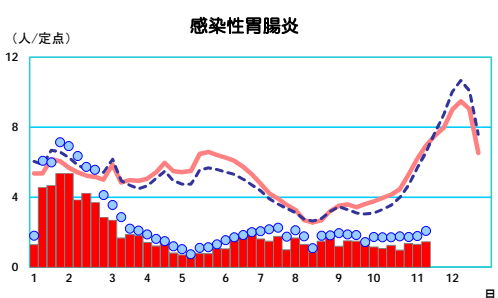
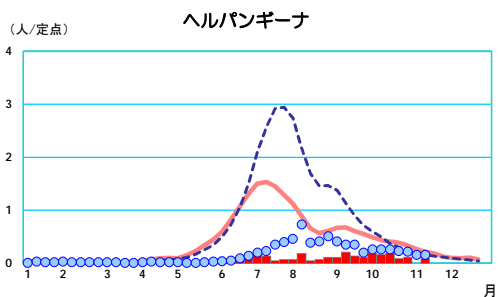
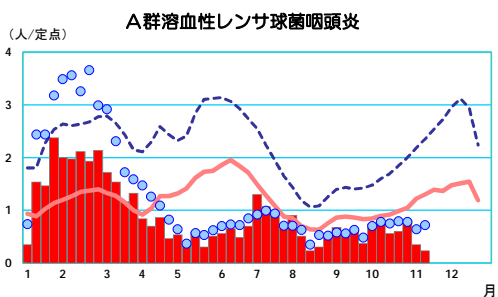
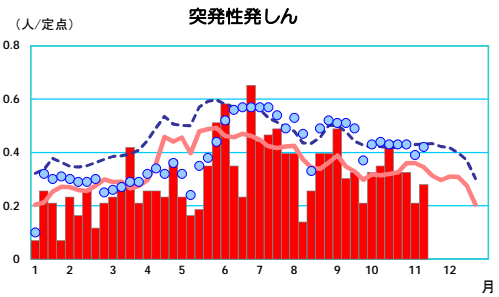
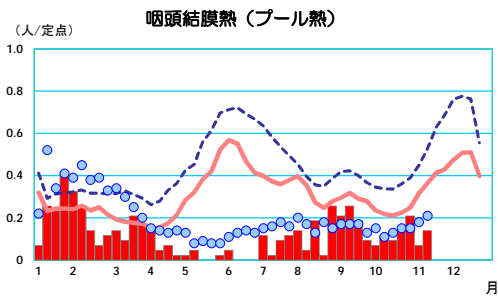
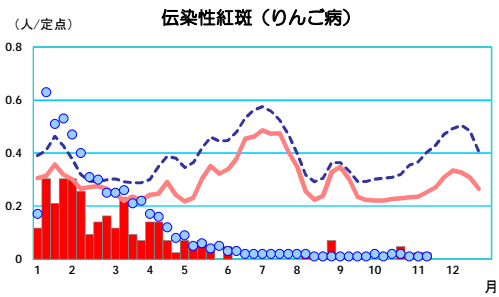
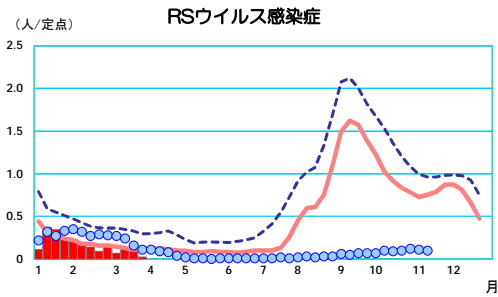
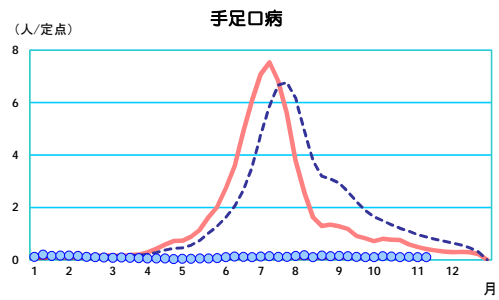
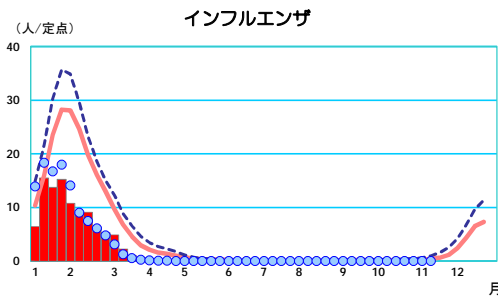
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ [†]	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.44	62
	② 水痘	0.30	13
	③ 突発性発しん	0.28	12
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.23	10
	⑤ 手足口病	0.16	7
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

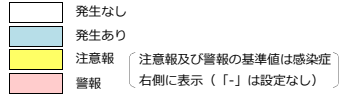
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <感染性胃腸炎(ロタウイルス)>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数 / 結核の月まとめ)

(注) 京都市のデータは, 2020年11月18日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
[※] 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

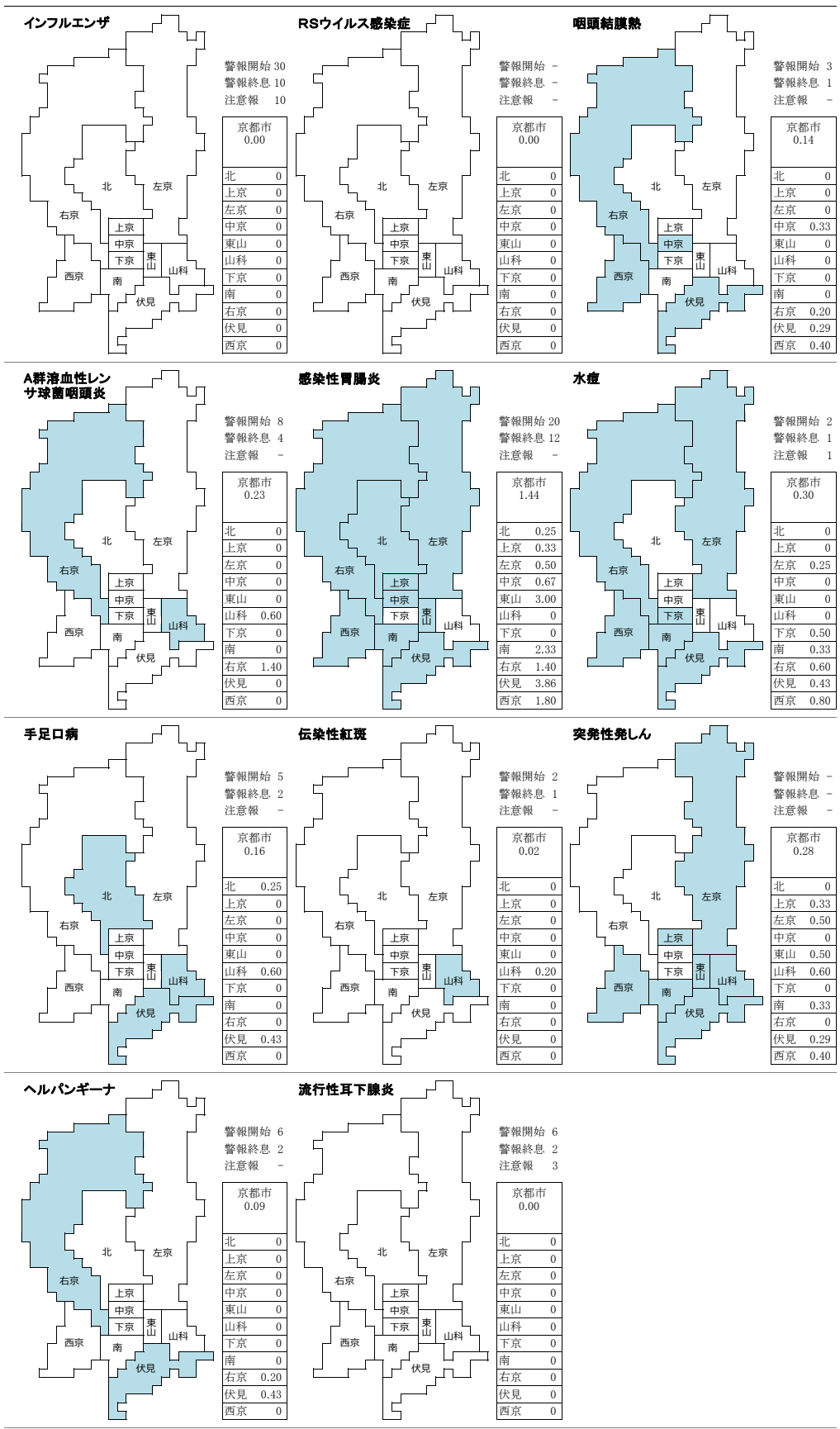
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第46週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第46週(11月9日～11月15日)トピックス: <感染性胃腸炎(ロタウイルス)>

京都市の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、1.44(62例)となり、前週より微増したものの過去5年間の平均を大きく下回る状況が続いています(図1)。

感染性胃腸炎は、主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称で、原因となるウイルスには、「ノロウイルス」、「ロタウイルス」、「サポウイルス」、「アデノウイルス」などがあり、主な症状は腹痛・下痢、嘔吐、発熱です。

感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎のうち、原因がロタウイルスと判明した報告を別途集計(基幹定点のみ)しており、直近5年間の全国の報告数の推移を見ると、例年、3週～5週に増加し始め、15週～17週にピークを迎える傾向がみられます(図2)。

しかし、本年は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、手洗いうがい、マスク着用などの予防策徹底がロタウイルスによる感染性胃腸炎の予防にも有効に働き、報告数は増加することなく推移を続け、全国の第46週までの年間累積報告数はわずか235例にとどまっています。

ロタウイルス感染症は、乳幼児の嘔吐・下痢症の一つであり、生後6箇月頃から2歳頃に多く発症します。就学前の子どもの約半数が、一度はロタウイルス感染症で小児科外来を受診するとも言われています。

実際に直近5年間の全国の年齢階級別割合を見ると、例年、1歳から4歳の報告が最も多く、0歳をあわせると4歳以下で59.6%～76.8%を占めています(図3)。

ロタウイルスは感染力が非常に強く、上記の年齢層が患者の多くを占めていることから、保育所や幼稚園などの施設では、ノロウイルスと同様に集団発生を引き起こす原因となります。感染対策はノロウイルスと同じです。突然の患者発生にすぐに対応できるように、消毒薬(次亜塩素酸ナトリウム溶液)を準備し、マスクや手袋を含む嘔吐物処理セットの使用手順などを再確認しておきましょう。

重症化予防にはワクチンがあり、令和2年10月から定期接種化されました。初回接種の対象は生後2箇月から出生14週6日後までです。対象の乳児がおられる保護者の方は、詳細を予防接種協力医療機関にご相談ください。

ロタウイルス予防接種の詳細については下記URLを御参照ください。

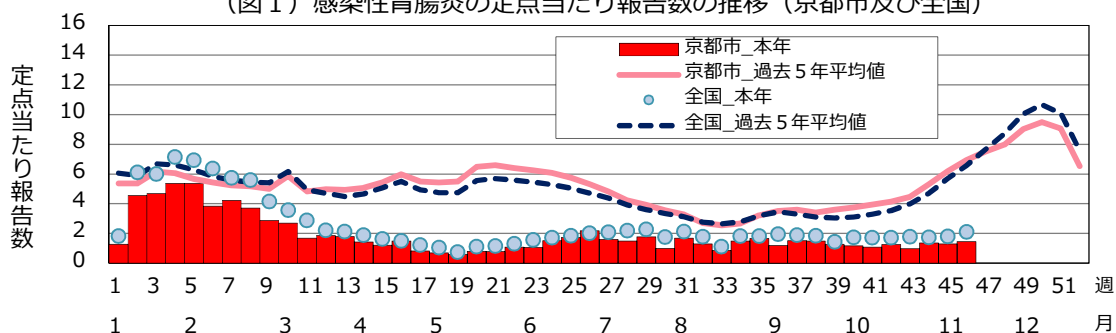
○ロタウイルス予防接種について(京都市保健福祉局 医療衛生推進室 医療衛生企画課)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000273091.html>

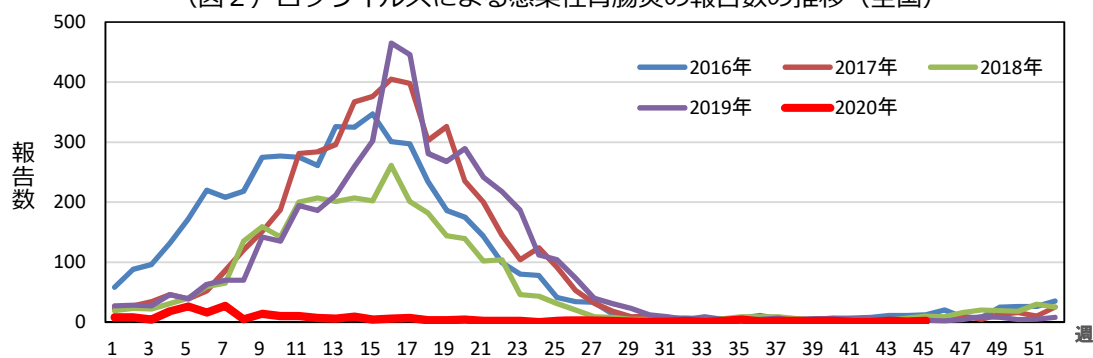
○京都市子どもの感染症 ポスター11月号「ロタウイルスワクチンが定期接種(無料)になりました」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

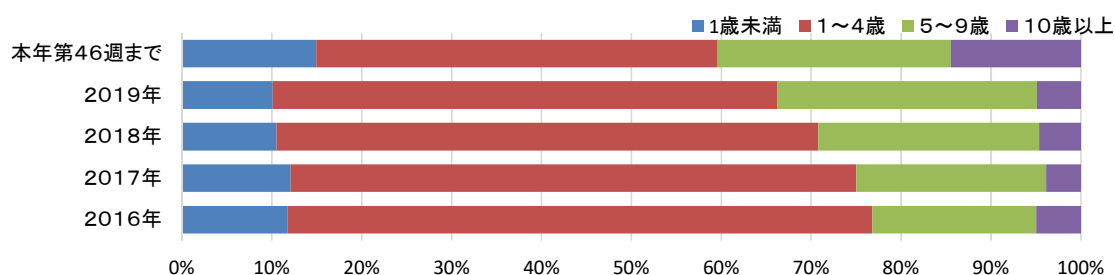
(図1) 感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移(京都市及び全国)



(図2) ロタウイルスによる感染性胃腸炎の報告数の推移(全国)



(図3) ロタウイルスによる感染性胃腸炎の年齢階級別割合(全国)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第46週

疾病,行政区別報告数

2020年11月9日～2020年11月15日

データ入手日:2020年11月18日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	2	1	-	-	2	-	-	-	-					
中京	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-							
山科	-	-	-	3	-	-	3	1	3	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	-	7	1	-	-	1	-	-							
右京	-	-	1	7	7	3	-	-	-	1	-	-	1					
伏見	-	-	2	-	27	3	3	-	2	3	-	-	-					
西京	-	-	2	-	9	4	-	-	2	-	-	-	-					
京都市計	-	-	6	10	62	13	7	1	12	4	-	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	0.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	0.50	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-					
中京	-	-	0.33	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	3.00	-	-	-	0.50	-	-							
山科	-	-	-	0.60	-	-	0.60	0.20	0.60	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	-	2.33	0.33	-	-	0.33	-	-							
右京	-	-	0.20	1.40	1.40	0.60	-	-	-	0.20	-	-	1.00					
伏見	-	-	0.29	-	3.86	0.43	0.43	-	0.29	0.43	-	-	-					
西京	-	-	0.40	-	1.80	0.80	-	-	0.40	-	-	-	-					
京都市計	-	-	0.14	0.23	1.44	0.30	0.16	0.02	0.28	0.09	-	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第46週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年11月9日～2020年11月15日

データ入手日:2020年11月18日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		6	-	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		10	-	2	-	1	1	1	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		62	-	1	10	9	6	4	3	6	1	2	5	8	2	5	-	-	-	-	-	-	-
水痘		13	-	-	2	1	2	2	2	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		7	-	1	1	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		12	-	5	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		4	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.14	-	-	0.09	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.23	-	0.05	-	0.02	0.02	0.02	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		1.44	-	0.02	0.23	0.21	0.14	0.09	0.07	0.14	0.02	0.05	0.12	0.19	0.05	0.12	-	-	-	-	-	-
水痘		0.30	-	-	0.05	0.02	0.05	0.05	0.05	0.02	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.16	-	0.02	0.02	0.07	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.28	-	0.12	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.09	-	-	-	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第46週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年11月18日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	-	1	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	5	4	6	9	3	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	24	26	35	15	10
感染性胃腸炎	46	54	42	58	56	62
水痘	4	12	4	12	9	13
手足口病	-	1	-	-	3	7
伝染性紅斑	-	-	2	-	1	1
突発性発しん	15	19	14	14	9	12
ヘルパンギーナ	7	8	4	5	-	4
流行性耳下腺炎	1	-	1	1	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	1	-	-	1
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	110	122	101	134	96	116

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	-	0.01	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.12	0.09	0.14	0.21	0.07	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.74	0.56	0.60	0.81	0.35	0.23
感染性胃腸炎	1.07	1.26	0.98	1.35	1.30	1.44
水痘	0.09	0.28	0.09	0.28	0.21	0.30
手足口病	-	0.02	-	-	0.07	0.16
伝染性紅斑	-	-	0.05	-	0.02	0.02
突発性発しん	0.35	0.44	0.33	0.33	0.21	0.28
ヘルパンギーナ	0.16	0.19	0.09	0.12	-	0.09
流行性耳下腺炎	0.02	-	0.02	0.02	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	0.10	-	-	0.10
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	2.56	2.84	2.42	3.12	2.23	2.77

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。